第１回沢登講習会

【報　告　者】ホリ
【日　　時】平成 25 年 5 月 22 日　　【天　候】快晴
【参　加　者】Ａ塚、Ｍ下、Ｉ田、Ｉ丸、Ｔ橋、Ｋ崎、Ｉ上、Ｆ末、Ｏ森、
Ｓ藤、ホリ、Ｋ森、Ａ木、みっちー、Ｎ谷、Ｉ橋

≪コースタイム≫

◇5 月 21 日（土）　前泊組あり
◇5 月 22 日（日）　講習会
9：00 日向神　～　解散

≪　報　　告　≫

■前泊

講習会を翌日に備え、日向神のコテージで前泊しました。

前泊組は道標 500 号記念山行に参加した人が大多数でしたが、私は宴会からの参加になりました。

コテージでは到着するなり宴会の準備が始まり、記念山行で採ってきた山菜なども食卓に並びました。九州の筍やマテ貝など、初めて食べる食材もあり、美味しく楽しい宴会となりました。

翌朝は快晴で、のんびりとした出発になりました。

目的地は宿泊地から目と鼻の先の距離でしたが、先客が講習会（？）を行っていました。何のための前泊なのか当日組に申し訳なく思いつつ、目的地を愛のエリア付近の法面へ変更しました。

当日組も程なく到着し、講習会が始まります。

講習会は、全員で道具の説明などの座学から始まりました。その後、班毎に分かれ基本的なロープワークなどをレクチャーして頂きました。

お昼には、M下さんが朝から準備してくれた竹の器で素麺をごちそうになりました。誇張なく人生で一番おいしい素麺でした。ゆで方でしょうか？不思議です。

午後は懸垂下降と、プルージックでの登攀の練習を行いました。まずは、立木を利用して懸垂下降の方法を教えてもらい、低い法面で実践しました。

話では聞いていましたが、ロープ径の差が小さいとプルージックは全く効きませんでした。無抵抗で落ちます。

また、エイト環の使い方も教えて頂きました。

低い法面と高い法面で一通り練習を行い、講習会を終了しました。

今回は、常にサポートしてくれる人が周りにいて、支点も安心な物を設置してくれました。しかし、自分で作った支点に、自分で作ったシステムに命を預けるのはとても怖いと感じました。これは練習が必要だと感じました。

講習会は無事終了し、希望する人達と道端エリアでリードクライミングをしました。私は外でのリードクライミングが初めてだったので、教えてもらいながら登りました。スラブ面だったので高度感から来る怖さはありませんでしたが、スラブ特有のこわさがありました。また、ジムとは違う怖さもありました。

しかし、ジムには無い爽快感と、ボルダーとも違う楽しさがありました。

沢登りも今までに体験した事のない楽しさがあるのだと思います。

益々、沢登りが楽しみになってきました。

講習会で学んだ事を生かし、安全に楽しんで行きたいと思いました。